

みんなの文芸



俳句

うらほろ俳句会

杖と行く看取りの朝が初仕事
たぶん手を振った様にも雪繁く
免許証を手放す覚悟鬼は外
迎春や凍えそうなり立ち話
この吹雪南国へと転送します
蛇口からジャーと寒の音出ず
友に会うマスクを外すタイミング

井下まさの
大山みどり
黒田ちえこ
柴田 岱華
菅谷 日月
福原 仁子
山村 幹雄

川柳

浦幌川柳会

糠床に忍びわらうは金塊よ
年ごとに好きな川柳浮かばない
耳つんぼ好都合のときもある
農道の舗装がトイレ北狐
糸端の読めない髪を今日も問い

加藤 未貴
橋本 葉子
大山 研
山村 幹雄
阿部 麗紅

川柳

上浦幌句の会

初参り健心豊かな一年を
冬ねむる草木芽をふき春をよぶ
手を引かれ亡夫と歩く散歩道
何時の間に越えて来たかよ九十年
青春の文炎に乗せてさようなら
激動の昭和と平成生き次は何
初日の出みんなで拝みお神酒飲む
新年会飲んで食べて賑やかに

笹島カヨ子
河村みよ子
芳川 乙美
加藤 明敏

短歌

心友愛会

雪掻き続き足腰つかれてる
テレビの前で横になる
遠くに住みし小父からの年賀状
懐かしい思い胸があつくなる

浅野 京子
中田 麗子

我がむすこ(猫)ストーブの前長く伸び
外の猫たち寒そうで春まつ

山岸 明美

新年号が変る年迎へ久しぶり
友とトランプ笑顔で遊び

泉 久子

困る事自分の体考えず
つつい食べる食品の数

小川 房子

ゲームトランプ仲間の笑顔楽しい声
食事も楽しく食べ肥える日に

谷向しげ子

年の始め静かに明ゆくすこやかなれ
我身を労り一日生きおり

星 愛子

編集後記

■「最強寒波」が襲来し、2月上旬は身体に突き刺さるような寒さでした。

■さて、少し前の1月26日に開催された「うらほろ冬花火」は、風もなく穏やかな晴天に恵まれ、絶好のコンディション。真冬の澄んだ空気の中、6千発の花火が音楽とともに打ち上げられ、音と光の競演が町民球場周辺を包み込みました。花火といえば夏の十勝川が全国的に有名ですが、今回の冬花火もそれに負けない感動をもたらしてくれました。関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

■2月9日の上浦幌公民館まつりでは、上浦幌中央小の1年生の歌「U.S.A.」で、会場全体が「カモンベイビー、カミウラ」のコール。なんだかとても幸せな気分になりました。

(大)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。